

のり養殖通報 第12報

千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議 令和2年1月24日発行

[気象・海況] 季節外れの前線停滞中

- 水温 徐々に低下してきましたが、昨年度漁期や平年と比較すると 1.5℃～2.5℃高い状況です (図 1, 2)。例年であれば、2月上旬が最低水温期、2月中旬以降から昇り水温に変化していきます。
- 栄養塩 全漁場で充分量あります (表 1)。
- 沖合水 直接的な波及は見られていません (図 1)。黒潮の蛇行や接岸は、日々変化しますので、今後も動向に注意が必要です。
- 気象 季節外れの前線が停滞する影響で、しばらく曇雨天が継続する見込みです。また、この先、一ヶ月の気温は高い～かなり高いと予報されています。

[今後の留意点] 粘り強い生産管理を！

- ・この時期としては、例年よりも水温はかなり高い状況が継続し、かつ、降水量も多くなっています。
- ・そのため、登り水温期には、あかぐされ病の蔓延に注意が必要になります。
- ・漁期終盤まで生産を継続できるように、きめ細やかな養殖管理 (段線管理, 早期摘採, 活性処理) を行って下さい。
- ・冷凍出庫網のノリ芽の状況が、今ひとつとの情報もあります。可能性としては、育苗期に疑似しろぐされ症に感染していた場合、また、なんらかの生理障害の可能性もあります。
- ・東京湾漁業研究所では、随時、ノリ芽の検鏡を行いますので、ノリの様子が気になる場合は、気軽に持込み下さい。
- ・共販価格は、今後も高めで推移する見込みです。4月末まで粘り強く生産が継続できるように、養殖計画を立てて下さい。

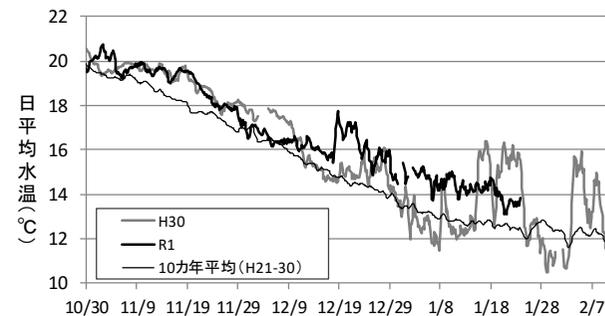


図1 新富津漁場 (観測ブイ) の表層水温の推移



図2 富津漁場の表層水温の推移

表 1 栄養塩 (1/14, 15 観測結果) $\mu\text{g/L}$

	窒素	リン
船橋	663	47
木更津 (BC)	555	33
富津ベタ	432	27
1海ほ下	247	14
下洲ベタ	205	13